

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
分野区分 1 青少年の体験活動の充実（学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成）

事業名 (担当課)	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合 評価	今後 の方向性
子ども会ジュニアリーダーの養成 （スポーツ・生涯学習課）	集団行動の楽しさを体験し、単位子ども会での率先的活動者となるために必要な知識や技術を習得させる。	(1)研修会 初級・中級合同リーダー研修会 1回 （2月…小学生21名、ジュニアリーダー2名、青年リーダー2名） 中級リーダー研修会 1回 （2月…中学生6名、ジュニアリーダー3名、青年リーダー2名） (2)内容 ゲーム・レクリエーションの指導、創作活動、スポーツ活動、子ども会に関する講話、テント設営練習、危機回避演習等	0 （子ども会育成連合会への補助金353,000円）	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●なし <令和5年度の成果と課題> ○リーダー研修会は、ジュニアリーダー（中学生）が企画・運営して、ゲームレクや創作活動等の指導をしている。率先的活動者として「憧れる先輩像」を示せる貴重な機会として、充実した研修会となっている。 ○企画・運営する側として活動できるリーダーを増やすことが課題だが、令和5年度のリーダー研修会を受講した者の中から新たに中学生リーダーが誕生した。	A	継続
アドベンチャーキャンプ （スポーツ・生涯学習課）	自然体験や創作活動等の体験活動を通して、豊かな心を育むとともに、様々な年齢の仲間と交流を深めることで、自主性や協調性を養い、各地域においてリーダーシップを発揮し、活動を率先して行うことのできる人材を育成する。	(1)事前説明会 7月28日（金） (2)内容 1日目：テント設営、竹の箸作り、バーベキュー、ナイトハイク 2日目：野外炊飯（朝食）、いかだ作り、オリジナルメニュー作り（夕飯）、キャンプファイヤー 3日目：野外炊飯（朝食）、創作活動、ゲームレク	0 （子ども会育成連合会への補助金353,000円）	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 <令和5年度の成果と課題> ○全日程を高校生のジュニアリーダーが取り仕切り、学校や学年の垣根を越えて交流を深めた。 ●熱中症対策のため、予定していたスケジュールから活動場所や活動時間を急遽変更する場面も見られた。	A	継続
花巻市友好都市交流事業（友好都市） （スポーツ・生涯学習課）	新渡戸友好都市提携（平成元年）を契機に両市の理解と友好を深める一助として小学生の交流を実施し、もって時代を担う青少年の育成を図る。	花巻市・平塚市の児童と交流しながら、自然体験、イワナの燻製づくり、キャンプファイヤー、新渡戸記念館等見学などを行った。	714,903	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 <令和5年度の成果と課題> ○参加児童の満足度も高く、自治体交流と社会教育（人づくり）の2つの行政目的を達成することができた。 ●派遣時期が夏に重なることから、職員を分散して対応する必要がある。 ●参加負担金があるため、貧困家庭等にとっては参加の妨げになっている可能性がある。	A	継続
日本三大開拓地小学生交流 （スポーツ・生涯学習課）	三市町の小学生の交流を通して、次代を担う青少年の育成を目的とする。また、郷土の開拓の歴史などを学び郷土理解を深める契機とする。	受入当番自治体からの申し出により中止	0		—	継続
土佐町親善交流事業（姉妹都市） （スポーツ・生涯学習課）	姉妹都市（昭和60年締結）の土佐町とホームステイによる相互交流を通じて郷土理解を深めるとともに、両市町の友好・絆を一層深める。	8月には十和田市児童を土佐町に派遣し、桂月館や早明浦ダムの見学、SUP体験などを行った。また、2月には土佐町児童を十和田市に受入し、スキー体験や鳶沼の大町桂月の墓参りなどを行った。ホームステイによる相互交流とした。	2,117,464	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 <令和5年度の成果と課題> ○参加児童の満足度も高く、自治体交流と社会教育（人づくり）の2つの行政目的を達成することができた。特に、ホームステイによって濃密な交流が継続し、関係人口の構築につながっている。 ●派遣時期が夏に重なることから、職員を分散して対応する必要がある。 ●参加負担金があるため、貧困家庭等にとっては参加の妨げになっている可能性がある。	A	継続

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
 分野区分 1 青少年の体験活動の充実（学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計（円）	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方向性
寺子屋稲生塾 (スポーツ・生涯学習課)	先人の開拓精神や故郷の良さを考えることにより、子どもたちの郷土愛くむとともに、将来の十和田市を支える人づくりを目指す。	・第1回 開講式、稲生川と三本木原開拓の歴史(11人参加) ・第2回 馬の産地十和田市の歴史、流鏑馬体験(14人参加) ・第3回 開拓当時の生活体験と旧笠石家住宅・民俗資料館見学(7人参加) ・第4回 十和田湖・奥入瀬の自然散策、十和田湖ひめす孵化場見学(13人参加) ・第5回 進化する伝統工芸「きみがらスリッパ」の話、製作体験(11人参加) ・第6回 十和田市で活躍する先輩の話、閉講式(8人参加)	508,247	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●なし <令和5年度の成果と課題> ○歴史や伝統を学ぶ講座に未来の十和田市や将来の夢について考える講座を加えたプログラムとし、毎回ごとに参加者へのアンケートを実施したところ、「とても良かった」「良かった」と回答した割合は100%であった。 ●参加者が少ない回もあり、全ての講座に参加した児童は極めて少なかった。	A	継続

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
 分野区分 2 地域が支えるキャリア教育の充実（学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成）

事業名 (担当課)	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合 評価	今後 の方向性
北里大学夏休み 体験学習 （スポーツ・生涯学習課）	夏休みを利用して北里大学獣医学部に体験入学し、生物や自然との関わりについて学ぶとともに、環境の大切さについて理解を深める。	①「動物の心臓病～獣医さんはどう診るの？」 ②「身近にある小川や水路の学習～流れる水を計ってみよう～」 の2講座を受講した。	30,000	＜令和4年度の課題＞ ○：成果、●：課題 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ＜令和5年度の成果と課題＞ ○実験を交えながらの体験的な授業を受け、生物や自然との関わりを学ぶとともに、地元にある大学について知ることができた。 ●5年生以上が対象であったが定員に満たず、4年生以下の参加希望者も参加させることができた。一方で、参加者の理解力や集中力に差があった。	A	継続
ファミリー電波 教室 （スポーツ・生涯学習課）	身の回りで利用されている電波について、その性質などを映像・実験を通して学ぶ。	共催する青森県電波適正利用推進員協議会の決定により中止	0		—	継続

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
分野区分 3 子どもの読書活動の充実（学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計 (円)	成 果 と 課 題	総合 評価	今後の 方向性																		
「家庭読書の 日」の普及 (市民図書館)	毎月第4日曜日を「十和田市 家庭読書の日」と定め、家庭に おいて、親子と一緒に読書を楽し むことで子どもの読書への興 味と関心を図る。	・「家庭読書の日」にすすめる図書の展示コーナー設置と貸出し ・他団体との連携による「絵本の読み聞かせ」等の開催 ・図書館のホームページや「広報とわだ」による「家庭読書の日」のPR	0	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●「家庭読書の日」のPR及び「家読本」の紹介について、引き続きPRし ていく。 <令和5年度の成果と課題> ○「家庭読書の日」にすすめる「家読本」は、3カ月ごとに更新して展 示している。 親子で読書を楽しむきっかけ及び本選びに利用されており、HPアクセス が多くなっている。 ●「家庭読書の日」のPR及び「家読本」の紹介について、引き続きPRし ていく。	A	継続																		
子ども司書養成 講座 (市民図書館)	図書館や司書の仕事を学び、 友達や家族に読書の楽しさや素 晴らしさを伝える“子ども司 書”を養成する。	図書館内の見学、図書の貸出・返却処理、図書の検索等の司書の知識や技術を 学ぶ体験を通して、本と人との橋渡しを手助けする読書活動推進の担い手とし て、子ども司書を養成する。	13,556	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●読書の素晴らしさを伝え、読書活動推進の担い手を育成するため、多 くの児童に参加してもらえるよう、講座の日程・回数等を検討する必要 がある。 <令和5年度の成果と課題> ○読み聞かせや調べものに重点をおいた講座内容としたことで、参加児 童が主体的に協力し合って活動し、図書館の役割や司書の仕事への理解 を深めることができた。 ●読書の素晴らしさを伝え、本と人をつなぐ読書活動推進の担い手で ある子ども司書を養成するため、時期や内容を検討し、ボランティアの 協力も得ながら事業の充実を図っていく。	A	継続																		
子どもビブリオ バトル (市民図書館)	発表者と参観者のコミュニ ケーションや知識共有の場とな り、本のおもしろさや魅力を知 り、読書のきっかけをつくるこ とで、図書館利用の推進を図 る。	発表者が紹介した本について、参加者が質問を行った後、「どの本が一番読み たくなったか？」全員が投票して、チャンプ本を決定する。 (1)事前学習会 8月1日 参加者 6人 参観者20人 (2)内容 演習などにより、ビブリオについての基本的な知識を身につける。	27,020	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●参加者が減少したため、新規の参加者を増やすよう、効果的な広報・ 周知を検討したい。 <令和5年度の成果と課題> ○事前学習会を実施したことで、発表のコツを掴み、上手く時間を使っ て発表している子どもが多く見受けられた。また、発表者・参加者とも 積極的に質問し、活発なディスカッションとなった。 ●参加者を増加させるために、新規の参加者を増やすよう、効果的な広 報・周知を検討したい。	A	継続																		
<委員からの意見等> ・ビブリオバトルもいい試みだけれども、26人なのって前から思っていた。PRが少し足りないのかもしれない。																								
おはなし会等の 開催 (市民図書館)	絵本や紙芝居、昔話などのお はなし会や、製本教室の開催に より、読書の楽しさと素晴らし さを感じてもらい、図書館への 親しみと関心を図る。	<table><tr><th>事 業 名</th><th>月 日</th><th>場 所</th><th>参加人数</th></tr><tr><td rowspan="3">移動おはなし会</td><td>6月12日</td><td>ディサービスセンターきずな</td><td>30人</td></tr><tr><td>6月22日</td><td>チビッコハウス保育園</td><td>49人</td></tr><tr><td>7月31日</td><td>第五白菊保育園</td><td>22人</td></tr><tr><td>夏・冬休みおはなし会</td><td>7月・1月</td><td>市民図書館</td><td>60人</td></tr></table>	事 業 名	月 日	場 所	参加人数	移動おはなし会	6月12日	ディサービスセンターきずな	30人	6月22日	チビッコハウス保育園	49人	7月31日	第五白菊保育園	22人	夏・冬休みおはなし会	7月・1月	市民図書館	60人	20,000	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●引き続き、読み聞かせボランティアの協力を得て、より一層魅力ある 内容になるよう、事業の充実を図っていく必要がある。 <令和5年度の成果と課題> ○子供たちがおはなしの世界を楽しみ、本や図書館に親しむ機会を提供 することができた。 ●読み聞かせボランティアと日程や内容を検討し、多くの方に参加して いただけるよう開催の周知にも努めていく。	A	継続
事 業 名	月 日	場 所	参加人数																					
移動おはなし会	6月12日	ディサービスセンターきずな	30人																					
	6月22日	チビッコハウス保育園	49人																					
	7月31日	第五白菊保育園	22人																					
夏・冬休みおはなし会	7月・1月	市民図書館	60人																					
<委員からの意見等> ・図書館に大きな文字のコーナーがあるが、もう少し充実してくれればいいと思う。【回答】冊数はある程度確保するようにはしているが、どうしても他の図書の配置がある関係上、あそこ一面で対 応している状況となっている。 ・少しでも大きい文字の本が増えれば、ディサービスの方々も手に取ってしばらくは見ると思う。【回答】セット貸出に老健施設関係にも利用していただいているが、大活字本を半分程度入れている。																								

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育

分野区分 4 地域全体で子どもを育む活動の充実（学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計（円）	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方向 性																																																				
図書のセット貸出 (市民図書館)	図書の貸出を希望する幼稚園、保育園、小・中学校及び老健施設等に定期的に図書のセット貸出を行うことにより、読書活動の充実を図る。	(1)セット貸出（公用車による配本） 29か所 (幼稚園、保育園、仲よし会等) (2)セット貸出（利用団体来館） 13か所 (小学校5か所、老健施設等6か所、仲良し会1か所、保健センター)	0	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●読書活動の充実のため、引き続き事業の周知に努めていく必要がある。 <令和5年度の成果と課題> ○学校統合に伴い仲良し会が1校減少したが、統合した小学校が貸出セット数を増やしたため、貸出冊数は増加した。 ●読書活動の充実のため、引き続き事業の周知に努めていく必要がある。	A	継続																																																				
放課後子ども教室推進事業 (スポーツ・生涯学習課)	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強や文化活動、地域住民との交流等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健康やかに育まれる環境づくりを推進する。	(1)放課後子どもプラン運営委員会 ・開催回数 1回（3月） ・運営委員 9名 ・内 容 ①放課後子ども教室推進事業について ②放課後児童健全育成事業（仲よし会）について (2)各放課後子ども教室実施状況 <table><tr><th>No.</th><th>教 室 名</th><th>実施回数</th><th>延べ参加者数</th></tr><tr><td colspan="4">通常教室</td></tr><tr><td>1</td><td>三本木放課後子ども教室</td><td>38</td><td>438</td></tr><tr><td>2</td><td>北園放課後子ども教室</td><td>46</td><td>774</td></tr><tr><td>3</td><td>東放課後子ども教室</td><td>53</td><td>683</td></tr><tr><td>4</td><td>藤坂放課後子ども教室</td><td>30</td><td>877</td></tr><tr><td>5</td><td>大深内放課後子ども教室</td><td>7</td><td>161</td></tr><tr><td>6</td><td>ちとせ放課後子ども教室</td><td>55</td><td>661</td></tr><tr><td>7</td><td>東コミュニティセンター子ども教室</td><td>20</td><td>93</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>292</td><td>3,885</td></tr><tr><td colspan="4">遊びの日</td></tr><tr><td></td><td>全小学校（14校）</td><td>14</td><td>402</td></tr><tr><td></td><td>合計</td><td>306</td><td>4,287</td></tr></table> (3)主な活動内容 ・学習活動（宿題、読書、漢字カードなど） ・工作活動（紙コップ、プラ板、アイロンビーズ、押し花など） ・昔遊び体験（ブンブンごま、けん玉、百人一首など） ・軽スポーツ（風船バレー、スポーツ吹き矢など） ・文化活動（茶道）	No.	教 室 名	実施回数	延べ参加者数	通常教室				1	三本木放課後子ども教室	38	438	2	北園放課後子ども教室	46	774	3	東放課後子ども教室	53	683	4	藤坂放課後子ども教室	30	877	5	大深内放課後子ども教室	7	161	6	ちとせ放課後子ども教室	55	661	7	東コミュニティセンター子ども教室	20	93		計	292	3,885	遊びの日					全小学校（14校）	14	402		合計	306	4,287	3,280,425	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●なし <令和5年度の成果と課題> ○運動遊びの機会を増やし、身体を動かすことの楽しさを覚えるための新規事業として「遊びの日」を設け、全ての小学校で実施した。アンケートで「運動が好きになった」との回答が90%を超え、ねらいに沿った事業とすることができた。 ○放課後子ども総合プランの中で推進されている放課後児童クラブ（仲よし会）と放課後子ども教室の一体的な実施についても、「遊びの日」により仲よし会のあるすべての小学校で実現した。	A	継続
No.	教 室 名	実施回数	延べ参加者数																																																							
通常教室																																																										
1	三本木放課後子ども教室	38	438																																																							
2	北園放課後子ども教室	46	774																																																							
3	東放課後子ども教室	53	683																																																							
4	藤坂放課後子ども教室	30	877																																																							
5	大深内放課後子ども教室	7	161																																																							
6	ちとせ放課後子ども教室	55	661																																																							
7	東コミュニティセンター子ども教室	20	93																																																							
	計	292	3,885																																																							
遊びの日																																																										
	全小学校（14校）	14	402																																																							
	合計	306	4,287																																																							
<委員からの意見等> ・予算も多くとってもらい、回数・参加者ももっと増えれば良いなと感じている。																																																										

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
 分野区分 5 家庭教育支援の充実（学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計（円）	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方向 性
家庭教育応援事業 (スポーツ・生涯学習課)	家庭教育の重要性や大人と子どもの関わりについて理解を深めることにより家庭における教育力の向上を図るため、学校や各種団体との連携・協力のもと、講話やワークショップを通じて、子どもの育ちだけでなく親育ちのためにもともに学び合うための学習機会を提供する。	参観日や健康集会等、子どもだけでなく保護者や教職員も一同に学び合える機会に設定して講演会を開催した。健康（栄養・姿勢・早寝早起き）や情報モラル等、今日的課題として学校等から要望のあったテーマに沿って講師を選定した。	161,000	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●保護者の参加が任意の場合は参加割合が低いため、参観日等の機会の活用を促したい。 <令和5年度の成果と課題> ○参加者の理解度は95.6%、満足度は98.2%となり、実施校と連携をしながらテーマや講師を選定しているため、ニーズに即した講演を実施することができたと考えられる。 ○保護者の参加者数については、新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり昨年度より50名増えた。（R4：238名→R5：288名）	A	継続

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
分野区分 6 ライフステージに応じた学習機会の充実（生涯を通じた学びと社会参加の推進）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計（円）	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方 向性																																																						
とわだ子ども議会 (スポーツ・生涯学習課)	議会を模擬体験することにより、子どもたちが議会や行政の仕組みを知り、質問を通して自分たちの住んでいる十和田市について考えることにより、郷土を愛する心情をはぐくむとともに、子どもの意見に耳を傾け、まちづくりに活かす機会とする。	当年度から中学生も対象に加え、事前に勉強会やリハーサルを行い、子ども議会を開催した。 勉強会も2日間とし、施策の方向性や事業、議会の仕組み等について学び、総合計画の基本目標ごとにチームを組んで質問書を作成した。 (1)6月24・25日 勉強会開催 ①十和田市の総合計画について ②市議会について ③質問書の書き方について ④質問書作成及び議長・副議長選出 (2)7月24日 子ども議会リハーサル (3)7月25日 子ども議会開催	30,633	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●提出された質問書を精査（修正）する仕組みがなかった。 <令和5年度の成果と課題> ○各個人が質問書を作成してくるのではなく、2日間に増やした勉強会の中で基本目標のチームごとに質問書を完成させることで、子ども議員が相互にチェックすることができた。 ○施策について調べることができるよう勉強会で検索コーナーを設けたり担当職員が質問書を確認できる体制を整えた。	A	継続																																																						
少年少女発明クラブ (スポーツ・生涯学習課)	創作活動を通して、子ども達に豊かな発想力と着想を具体化するたくましい構想力を育て、アイデアを生かした創造の喜びを体得させ、夢や希望にあふれた心豊かな人格の形成を図る。	(1)ドリーム班（小学校3・4年生）・・・全28回 かんたん万華鏡、電動プロペラカー、ロボット工作、ドリームロボコン、クラブロボコンのための製作、県出前授業 (2)エジソン班（小学校5年生～中学校3年生）・・・全29回 電動工作（簡単ボタン制御ロボ）、県弁理士派遣事業、ロボット製作、クラブロボコンのための製作、フラップ10、簡単ボタン制御ロボプログラミング	4,541,848	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●なし <令和5年度の成果と課題> ○活動はほぼコロナ前と同じに中止することなく実施することができ、指導員の欠席等については、事前に交代要員として打診して対応することができた。 ○三沢航空科学館による出前授業を活用することができた。 ○県ロボコンで優秀な成績を修めることができた。	A	継続																																																						
とわだ市民カレッジ (スポーツ・生涯学習課)	関係機関と連携し、充実した内容の講座を提供することで、心豊かで潤いのある生活とまちづくりを一層推進していく生涯学習機会の場として開講する	<table><thead><tr><th></th><th>開催日時</th><th>場 所</th><th>講 師</th><th>演 題</th><th>参加者</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>6月3日(土) 14:00-15:30</td><td>大ホール</td><td>ピアニスト 中川賢一ほか</td><td>親子で楽しむ『絵本と音楽』 コンサート『おまえうまそうだな』『はらぺこ あおむし』</td><td>560</td></tr><tr><td>2</td><td>7月6日(木) 18:30-20:00</td><td>大ホール</td><td>翻訳家、新潟産業大学経済学部准教授 蓮池 薫</td><td>夢と絆を求めて～翻弄された運命のなかで～</td><td>510</td></tr><tr><td>3</td><td>7月27日(木) 18:30-20:10</td><td>生涯学習 ホール</td><td>北里大学獣医学部 教授 坂口 実</td><td>日本の食料事情と畜産の現実</td><td>62</td></tr><tr><td>4</td><td>8月3日(木) 18:30-20:00</td><td>生涯学習 ホール</td><td>京都大学准教授 伊勢 武史</td><td>人と自然のかかわり～原始時代から未来の環境まで～</td><td>74</td></tr><tr><td>5</td><td>9月4日(月) 14:00-15:30</td><td>大ホール</td><td>映画プロデューサー（十和田市出身） 松橋 真三</td><td>青森で、大志を抱く。</td><td>84</td></tr><tr><td>6</td><td>9月23日(水) 14:30-15:40</td><td>大ホール</td><td>教育評論家、法政大学名誉教授 尾木 直樹</td><td>子どもと大人のパートナーシップ時代～子ども参加の学校・社会づくりを考える～</td><td>410</td></tr><tr><td>7</td><td>11月30日(木) 18:30-20:00</td><td>生涯学習 ホール</td><td>声楽家（メソソプラノ）（十和田市出身） 加賀 ひとみ</td><td>音楽を通して、心と心の絆を結ぶ</td><td>194</td></tr><tr><td colspan="5">合計</td><td>1,894</td></tr></tbody></table>		開催日時	場 所	講 師	演 題	参加者	1	6月3日(土) 14:00-15:30	大ホール	ピアニスト 中川賢一ほか	親子で楽しむ『絵本と音楽』 コンサート『おまえうまそうだな』『はらぺこ あおむし』	560	2	7月6日(木) 18:30-20:00	大ホール	翻訳家、新潟産業大学経済学部准教授 蓮池 薫	夢と絆を求めて～翻弄された運命のなかで～	510	3	7月27日(木) 18:30-20:10	生涯学習 ホール	北里大学獣医学部 教授 坂口 実	日本の食料事情と畜産の現実	62	4	8月3日(木) 18:30-20:00	生涯学習 ホール	京都大学准教授 伊勢 武史	人と自然のかかわり～原始時代から未来の環境まで～	74	5	9月4日(月) 14:00-15:30	大ホール	映画プロデューサー（十和田市出身） 松橋 真三	青森で、大志を抱く。	84	6	9月23日(水) 14:30-15:40	大ホール	教育評論家、法政大学名誉教授 尾木 直樹	子どもと大人のパートナーシップ時代～子ども参加の学校・社会づくりを考える～	410	7	11月30日(木) 18:30-20:00	生涯学習 ホール	声楽家（メソソプラノ）（十和田市出身） 加賀 ひとみ	音楽を通して、心と心の絆を結ぶ	194	合計					1,894	3,381,241	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●なし <令和5年度の成果と課題> ○若年層の受講の促進や小さい子どもがいても受講できるという環境設定のため、第1講座に絵本コンサートを開催したところ、親子での参加が131組あり、気兼ねなく参加できとてもよかったなどの感想も多かった。 ○生涯学習ホールを予定していたが、申込者が多く大ホールに変更する講座もあった。 ○全体として満足度は96.3%と、大変質の高い講座を提供することができた。 ●素晴らしい講座なので、オンラインでもっと多くの人に聴かせたいという意見があった。	A	継続
	開催日時	場 所	講 師	演 題	参加者																																																							
1	6月3日(土) 14:00-15:30	大ホール	ピアニスト 中川賢一ほか	親子で楽しむ『絵本と音楽』 コンサート『おまえうまそうだな』『はらぺこ あおむし』	560																																																							
2	7月6日(木) 18:30-20:00	大ホール	翻訳家、新潟産業大学経済学部准教授 蓮池 薫	夢と絆を求めて～翻弄された運命のなかで～	510																																																							
3	7月27日(木) 18:30-20:10	生涯学習 ホール	北里大学獣医学部 教授 坂口 実	日本の食料事情と畜産の現実	62																																																							
4	8月3日(木) 18:30-20:00	生涯学習 ホール	京都大学准教授 伊勢 武史	人と自然のかかわり～原始時代から未来の環境まで～	74																																																							
5	9月4日(月) 14:00-15:30	大ホール	映画プロデューサー（十和田市出身） 松橋 真三	青森で、大志を抱く。	84																																																							
6	9月23日(水) 14:30-15:40	大ホール	教育評論家、法政大学名誉教授 尾木 直樹	子どもと大人のパートナーシップ時代～子ども参加の学校・社会づくりを考える～	410																																																							
7	11月30日(木) 18:30-20:00	生涯学習 ホール	声楽家（メソソプラノ）（十和田市出身） 加賀 ひとみ	音楽を通して、心と心の絆を結ぶ	194																																																							
合計					1,894																																																							

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
分野区分 6 ライフステージに応じた学習機会の充実（生涯を通じた学びと社会参加の推進）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計（円）	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方向 性																																																																														
図書資料の提供・収集・保存 (市民図書館)	市民の教養を深めること及び調査研究等に資することを目的に、図書資料を収集、保存し、市民に提供する。	(1)蔵書数・利用状況 (単位：日・冊・人) <table><tr><th>区 分</th><th>開館日数</th><th>蔵書数</th><th>登録者数</th><th>うち新規登録</th><th>利用冊数</th><th>利用者数</th></tr><tr><td>館内一般</td><td>—</td><td>124,950</td><td>30,545</td><td>855</td><td>153,582</td><td>49,363</td></tr><tr><td>館内児童</td><td>—</td><td>45,878</td><td>1,498</td><td>204</td><td>32,252</td><td>7,951</td></tr><tr><td>館外(セット貸出)</td><td>—</td><td>16,792</td><td>—</td><td>—</td><td>17,680</td><td>—</td></tr><tr><td>令和5年度合計</td><td>334</td><td>187,620</td><td>32,043</td><td>1,059</td><td>203,514</td><td>57,314</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>317</td><td>181,596</td><td>31,218</td><td>1,050</td><td>215,048</td><td>59,667</td></tr><tr><td>前年度比増減</td><td>17</td><td>6,024</td><td>825</td><td>9</td><td>▲11,534</td><td>▲2,353</td></tr><tr><td>前年度比増減率</td><td>5.4%</td><td>3.3%</td><td>2.6%</td><td>0.9%</td><td>▲5.4%</td><td>▲3.9%</td></tr></table> (2)図書資料の購入・寄贈状況 (単位：冊) <table><tr><th>区 分</th><th>購入図書</th><th>購入視聴覚資料</th><th>受入寄贈図書</th></tr><tr><td>館内一般</td><td>3,855</td><td rowspan="4">—</td><td rowspan="4">—</td></tr><tr><td>館内児童</td><td>1,557</td></tr><tr><td>館外(セット貸出)</td><td>320</td></tr><tr><td>コミュニティセンター</td><td>334</td></tr><tr><td>令和5年度合計</td><td>6,066</td><td>119</td><td>693</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>5,762</td><td>77</td><td>563</td></tr></table>	区 分	開館日数	蔵書数	登録者数	うち新規登録	利用冊数	利用者数	館内一般	—	124,950	30,545	855	153,582	49,363	館内児童	—	45,878	1,498	204	32,252	7,951	館外(セット貸出)	—	16,792	—	—	17,680	—	令和5年度合計	334	187,620	32,043	1,059	203,514	57,314	令和4年度	317	181,596	31,218	1,050	215,048	59,667	前年度比増減	17	6,024	825	9	▲11,534	▲2,353	前年度比増減率	5.4%	3.3%	2.6%	0.9%	▲5.4%	▲3.9%	区 分	購入図書	購入視聴覚資料	受入寄贈図書	館内一般	3,855	—	—	館内児童	1,557	館外(セット貸出)	320	コミュニティセンター	334	令和5年度合計	6,066	119	693	令和4年度	5,762	77	563	13,540,811	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●利用者からの多様な要望に応えと共に、定住自立圏の中心市にふさわしい蔵書構成を目指していく必要がある。 <令和5年度の成果と課題> ○選書方針に従い、計画的に図書資料の収集を行うことができた。 ●利用者からの多様な要望に応えと共に、定住自立圏の中心市にふさわしい蔵書構成を目指していく必要がある。	A	継続
区 分	開館日数	蔵書数	登録者数	うち新規登録	利用冊数	利用者数																																																																														
館内一般	—	124,950	30,545	855	153,582	49,363																																																																														
館内児童	—	45,878	1,498	204	32,252	7,951																																																																														
館外(セット貸出)	—	16,792	—	—	17,680	—																																																																														
令和5年度合計	334	187,620	32,043	1,059	203,514	57,314																																																																														
令和4年度	317	181,596	31,218	1,050	215,048	59,667																																																																														
前年度比増減	17	6,024	825	9	▲11,534	▲2,353																																																																														
前年度比増減率	5.4%	3.3%	2.6%	0.9%	▲5.4%	▲3.9%																																																																														
区 分	購入図書	購入視聴覚資料	受入寄贈図書																																																																																	
館内一般	3,855	—	—																																																																																	
館内児童	1,557																																																																																			
館外(セット貸出)	320																																																																																			
コミュニティセンター	334																																																																																			
令和5年度合計	6,066	119	693																																																																																	
令和4年度	5,762	77	563																																																																																	
本のリサイクルフェア (市民図書館)	家庭で読み終わって不要になった本を収集し、市民や近隣市町村住民が再利用することにより、図書資源の有効活用と読書活動の充実を図る。	<table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="4">収集冊数 (冊)</th><th>持ち帰</th><th colspan="3">来場者数 (人)</th></tr><tr><th>一般</th><th>児童</th><th>雑誌</th><th>合計</th><th>り冊数</th><th>市内</th><th>市外</th><th>合計</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1,138</td><td>485</td><td>961</td><td>2,584</td><td>2,474</td><td>235</td><td>27</td><td>262</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>2,368</td><td>158</td><td>939</td><td>3,465</td><td>3,335</td><td>232</td><td>25</td><td>257</td></tr><tr><td>前年度比</td><td>▲1,230</td><td>▲327</td><td>22</td><td>▲881</td><td>▲861</td><td>3</td><td>2</td><td>5</td></tr><tr><td>増減率(%)</td><td>▲51.9</td><td>207.0</td><td>2.3</td><td>▲25.4</td><td>▲25.8</td><td>1.3</td><td>8.0</td><td>1.9</td></tr></table>	区分	収集冊数 (冊)				持ち帰	来場者数 (人)			一般	児童	雑誌	合計	り冊数	市内	市外	合計	令和5年度	1,138	485	961	2,584	2,474	235	27	262	令和4年度	2,368	158	939	3,465	3,335	232	25	257	前年度比	▲1,230	▲327	22	▲881	▲861	3	2	5	増減率(%)	▲51.9	207.0	2.3	▲25.4	▲25.8	1.3	8.0	1.9	0	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●コロナ禍の中、当日に入場番号札を配布したが、開始30分で混雑したため、来年度もコロナ禍であるなら、開始時間、入場方法等を検討したい。 <令和5年度の成果と課題> ○コロナ禍が終了したことにより入場番号札は作成しなかったが、当日の状況は100人ほど並んだため、30名ずつの入場制限を行い、混乱もなく実施することができた。 ●当日開始前の状況を確認し、入場制限（30名ずつ等）を行い、入場者が混乱することがないように実施する。	A	継続																									
区分	収集冊数 (冊)				持ち帰	来場者数 (人)																																																																														
	一般	児童	雑誌	合計	り冊数	市内	市外	合計																																																																												
令和5年度	1,138	485	961	2,584	2,474	235	27	262																																																																												
令和4年度	2,368	158	939	3,465	3,335	232	25	257																																																																												
前年度比	▲1,230	▲327	22	▲881	▲861	3	2	5																																																																												
増減率(%)	▲51.9	207.0	2.3	▲25.4	▲25.8	1.3	8.0	1.9																																																																												

基本方針 Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育
分野区分 6 ライフステージに応じた学習機会の充実（生涯を通じた学びと社会参加の推進）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要						経費合計（円）	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方 向性
シニア大学 (スポーツ・生涯学習課)	高齢社会に対応し、高齢者が学習活動を通じて社会的能力を高め心豊かな生きがいのある人生の創造を目指すとともに、その学習の成果を社会参加活動につなげるよう支援する。		開催日	場 所	テーマ等	講師	参加者	515,023	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●クラブ活動にのみ参加し講座を受講しない参加者も散見された。 ●各コミセンで行っていた高齢者講座を集約して文化センターで行っているため、地域性（近くで参加しやすい、講座を通じて交流する）が薄れつつある。 <令和5年度の成果と課題> ○高齢者の課題に即した講座やレクリエーションを提供することができた。 ○講座を受けた満足度にとどまらず、「学んだ成果を自分の生活に生かせる」との回答も全体で92.2%と高評価であった。 ○新規受講者が増加した。 ●令和4年度の課題については、令和5年度も同様の状況であった。	A	継続
		1	4月25日（火）	生涯学習ホール	開講式〈特別講座【今さら聞けないスマホの使い方】	十和田市情報政策課	88				
		2	5月8日（火）	生涯学習ホール	音楽レクリエーション	山本 恵美	84				
		3	6月8日（火）	第4研修室	青森県の気象特性	青森地方気象台 斎藤 昭彦	50				
		4	7月4日（火）	第4研修室	今からできる防災対策	NPO法人県防災士会十和田支部	58				
		5	8月1日（火）	第4研修室	身近なお金のお話あれこれ・最近の悪徳商法	青森県金融広報委員会	55				
		6	8月28日（火）	志道館	介護予防体操	加藤 智子	55				
		7	8月18日（火）	志道館	神秘の食品「乳」	株式会社明治	52				
		8	10月4日（水）	野外学習	津軽探訪（道の駅アルジャ、斜陽館、立佞武多の館）		33				
		9	10月10日（火）	第4研修室	中央病院のめきす医療	十和田市立中央病院	45				
		10	10月31日（火）	第4研修室	健康食品と医薬品の違い	青森大学 清水 保明	60				
		11	11月21日（火）	志道館	軽スポーツ教室：ペタンク	スポーツ推進委員	48				
		12	12月12日（火）	第4研修室	くらしの安全	青森県消費者協会	51				
		13	1月18日（火）	第4研修室	地域の歴史・文化とスポーツ流籠屋	十和田流籠屋観光連盟	42				
		14	2月8日（火）	生涯学習ホール	「わの会」民謡鑑賞	「わの会」	54				
		15	2月20日（火）	生涯学習ホール	開講式〈クラブ活動発表〉		87				
<評価委員の意見等> ・図書館は建物が全国的にも有名なので、見る人も市外からも多いと聞いている。市民の図書館なので、市民に向けての目線は当然必要だが、市外から来た方も外から見たり、もしかしたら中に入るかもしれないので、そういったことも意識していただきたい。 ・利用者の立場で言うと、展示の飾り物とか、環境とか、トイレの綺麗さとか100点以上だと思う。十和田が今のところ一番だなと思っているので、これを続けていただきたい。											

基本方針 Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育
分野区分 7 高等教育機関、学校、地域、社会教育関係団体等との連携による学習・交流機会の充実（生涯を通じた学びと社会参加の推進）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要					経費合計（円）	成 果 と 課 題		総合 評価	今後の 方向性				
北里大学公開講座 (スポーツ・生涯学習課)	生涯学習の振興により多様化する学習ニーズに対応するため、大学の専門的分野の教育及び施設を地域社会に開放し、幅広い学習機会を提供する公開講座を開催する。		開催日	講 師	演 題	参加者	650,000	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●満足度が95%を超える質の高い講座であるので、より多くの市民に受講してほしい。 <令和5年度の成果と課題> ○多くの講座で高校生が受講しており、進路選択の一助になっていることが伺えた。 ○高校生のみならず、小学生の参加者も見られた。 ●受講者数については昨年度並みにとどまった。	A	継続					
		1	7月27日	坂口 実	日本の食料事情と畜産の現実	62名									
		2	8月3日	伊勢 武史	人と自然のかかわり～原始時代から未来の環境まで～	74名									
		3	8月10日	川口 博明	動物の病理医ってどんな仕事？	29名									
		4	8月24日	黒瀬 陽平	動物の栄養を通して人間の健康を考える	18名									
		5	8月31日	長坂 香禎	未来につなげる環境情報の取得技術	17名									
		6	9月7日	高岸 聖彦	生殖技術の進歩とヒトの生殖補助医療	18名									
		7	9月14日	吉川 泰永	どうやって細胞はがん化するのだろう？～細胞の分子生物学～	38名									
		8	9月21日	大出 亜矢子	カメラで環境を計ってみよう	14名									
合計 270名															
ふるさと出前きらめき講座 (スポーツ・生涯学習課)	市民の市政に対する理解を深め意識啓発を図り、市民と行政が協働で生涯学習によるまちづくりを推進する。	分野	実施回数	延参加者数	分野	実施回数	延参加者数	0	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●施設見学については、適正な人数や所要時間を知らせる必要がある。 <令和5年度の成果と課題> ○小・中・高校の授業での活用のほか、町内会や高齢者施設等での活用もあり、幅広い世代や分野にわたり市の施策や制度を説明する機会となっている。 ○施設見学については、申込があった際に適正人数や所要時間をお知らせし調整した。	A	継続				
		医療	7	136	市政	3	28								
		環境	5	88	施設見学	29	812								
		観光	1	15	生活	10	251								
		教育	8	408	税金	1	15								
		健康	1	26	福祉	4	80								
		介護	5	220	まちづくり	4	112								
		計			79	2,271									
		青少年育成十和田市民大会 (スポーツ・生涯学習課)	青少年の健全育成に資するため、また、良好な生活や社会環境を整えとともに、体験活動の機会拡充に努めていくことを目的として開催する。	「みんなで育てる 人との絆 輝く心」をスローガンに、家庭・学校・地域の連携のもとに青少年の健全育成を推進するため、青少年育成十和田市民会議との共催により市民大会を開催し、標語・川柳コンクールの表彰等を行った。								82,863	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●なし <令和5年度の成果と課題> ○関係者の参集のもと、青少年の健全育成に関する連携を確認する機会となった。 ○市民カレッジと共催することにより、一般市民に対しても青少年育成活動を周知することができた。	A	継続

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育

分野区分 7 高等教育機関、学校、地域、社会教育関係団体等との連携による学習・交流機会の充実（生涯を通じた学びと社会参加の推進）

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計（円）	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方 向性
二十歳のつどい (旧「成人 式」) (スポーツ・生 涯学習課)	二十歳となった若者を市を挙 げて祝い励ますとともに、次代 を担う十和田市民としての誇り と責任を自覚する契機とする。	式典（式辞、祝辞、二十歳の誓い、恩師からのメッセージ）を行った。 生涯学習ホールには新たにフォトスポットを設置し、式典終了後に写真撮影な どができるよう整備した。	587,493	＜令和4年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●なし ＜令和5年度の成果と課題＞ ○コロナ対策期間は事前申込制や出身校ごとの分散受付、保護者等の入 場制限をしていたが、それらをせずに行うことができた。 ○コロナ対策期間に密集を避けるため断念していたフォトスポットを設 置することができた。	A	継 続

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
分野区分 8 学習成果を生かした社会参加活動の支援（生涯を通じた学びと社会参加の推進）

事業名 (担当課)	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合 評価	今後 の方向性
生涯学習出前講座 (スポーツ・生涯学習課)	市内で活躍している市民を講師として登録し、かつ、市民等の団体が主催する集会等に出向き、市民の一人ひとりの学習意欲を高めるとともに市民同士の交流を図り、生涯学習活動の振興を推進する。	(1)市民講師登録者数 39名 (2)出前講座実施状況 計25回、参加者数 延べ1,256名 (3)主な利用団体 学校、PTA、町内会、保育園、病院、老人クラブ等 (4)主な実施講座 健康体操、大人も楽しめるお話し会、理科工作講習会、 バルーンアート、コアキッズ体操教室、 クラシックギター二重奏鑑賞 等	0	＜令和4年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●親子レクなどのPTA行事での活用もあったが、学校や学年により制度が知られていない場合もあるため、さらなる周知を図りたい。 ＜令和5年度の成果と課題＞ ○新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、実施件数や参加者数が大幅に伸びた。保育園や学校等から町内会、一般団体まで活用があった。 ○学年ごとに配布できるようパンフレットの部数を増やした。 ●市民講師の登録に関しても問い合わせが増えたが、講師の質を担保するのが難しいケースもあった。	A	継続
児童生徒発明くふう展 (スポーツ・生涯学習課)	日常生活をより豊かに快適にするための児童生徒の研究活動や創意工夫、ユニークなアイデアを「発明くふう」、「子どもの科学の夢の絵」と言う形で広く求め、その作品を一般に公開することで、未来を担う十和田市の児童生徒の創造性発展に寄与する。	(1)作品募集期間 8月24日（木）～9月1日（金） (2)審査会 9月4日（月） (3)出品校及び出品数 【発明くふうの部】 出品校 小学校 6校、中学校 1校 出品数 小学校 48点、中学校 1点 【子どもの科学の夢の絵】 出品校 小学校 8校、中学校 1校 出品数 小学校 118点、中学校 1点	227,823	＜令和4年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●1点の出品もない学校もあり、創意工夫にチャレンジする機会として活用を促したい。 ＜令和5年度の成果と課題＞ ○中学校からの出品がない年もあるが、発明くふうの部、夢の絵の部とも出品があった。 ○秋まつり開催に合わせて展示しているため、多くの来場者を得ることができた。 ●全児童生徒に作品募集のお知らせはしているが、1点の出品もない学校があることについては、令和4年度と同様であった。	A	継続

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
 分野区分 9 社会教育推進体制の充実（社会教育推進のための基盤整備）

事業名 (担当課)	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合 評価	今後 の方向性
十和田市教育懇談会 (スポーツ・生涯学習課)	教育行政関係者と市内小中学校長が一堂に会し、本市教育振興の実現に向けて当面する教育上の諸問題について認識や理解を深めるとともに、教育行政や学校運営に資するための方策等について意見交換をし、今後に反映させる。	(1)企画会議 ①6月1日（木）、②9月5日（火）、③12月20日（水） (2)十和田市教育懇談会 10月2日（月） テーマ「避難所運営の体験から考える防災」 講師 八戸学院大学地域経営学部 地域経営学科 井上 丹 氏	36,000	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●コロナ禍のため仕方がないが、グループ協議を求める声もあった。 <令和5年度の成果と課題> ○HUGという避難所運営ゲームを行った上で指導を含めた講話を聞く内容だったので「実際にやってみることで見えてきた課題があった」 「防災意識をもつ上で有意義であった」など、参加者から肯定的な意見が多かった。 ○各グループに行政と教育関係者を混在させてワークショップ（HUG）を行うことでグループ内でコミュニケーションが取れていた。	A	継続
社会教育委員の会議 (スポーツ・生涯学習課)	社会教育に関する諸課題の研究調査や生涯学習・社会教育の振興方策等についての提言を行うなど、十和田市における社会教育行政の総合的・効果的推進を図ることを目的とする。	(1)令和5年7月20日（木）第1回社会教育委員の会議 <7名> ・委嘱状の交付、令和5年度の予定について (2)令和5年10月19日（木）第2回社会教育委員の会議 <7名> ・とわだ子ども議会について、青森県社会教育研究大会について（報告） (3)令和5年11月27日（月）第3回社会教育委員の会議 <6名> ・放課後子ども「遊びの日」について (4)令和6年3月14日（木）第4回社会教育委員の会議 <9名> ・社会教育関係団体への補助金交付について	222,934	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●会議のテーマ設定について、社会教育委員の主体性を求める声があった。 <令和5年度の成果と課題> ○新たな委員も加わり、事業の実態に即した具体的かつ実質的な議論を行うことができた。 ○会議のテーマについては、事務局から提案したものと、社会教育委員が関心のある事項について議論するものと両方を取り上げることとした。	A	継続
十和田市民図書館協議会 (市民図書館)	市民の情報拠点としての図書館づくりのため、利用者のニーズを図書館運営に反映させていく。	○協議案件 ①令和4年度図書館事業報告について ②令和5年度図書館事業計画について	90,000	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●協議会を年2回開催に戻し、委員からの意見を予算や事業運営に反映させ、多くの方に利用される図書館にしていく必要がある。 <令和5年度の成果と課題> ○幅広い分野の委員より貴重な意見をきくことができ、図書サービスの向上に役立てている。 ●協議会を年2回開催し、委員からの意見を予算や事業運営に反映させ、多くの方に利用される図書館にしていく必要がある。	A	継続
	<委員からの意見等> ・次年度からは委員の意見等を載せてもらいたい。 ・広報に何かをやるという時に、4か月に1度くらいでもいいので、高齢者向けに出してもらえないか。【回答】月1回新刊便りを文化センターやコミュニティセンター等に置いている。					

基本方針 II 学びの循環のある地域を創る社会教育
 分野区分 10 社会教育関係団体等の活動の支援（社会教育推進のための基盤整備）

事業名 (担当課)	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合 評価	今後 の方向性
社会教育関係団体の認定・民間教育事業者の登録（スポーツ・生涯学習課）	社会教育関係団体認定及び民間教育事業者登録をすることにより、市民の自主的かつ多様な学習活動を支援する。	<社会教育関係団体の認定> 活動内容：社交ダンス、華道、空手、手芸、コーラス等 登録件数：155団体（令和6年3月31日現在） ※うち令和5年新規…9団体 ※認定されると、コミュニティセンターの使用料減免等の支援が受けられる。 <民間教育事業者の登録> 講座内容：いけばな、ヨガ、ピアノ、社交ダンス、料理等 登録件数：30講座（令和6年3月31日現在） ※登録されると、コミュニティセンターを利用して社会教育に関する講座を開設できる。	0	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●広報とわだで周知できた一方で、掲載した情報を訂正・変更（団体の都合で活動時間を変更する等）することの困難さが伺えた。 <令和5年度の成果と課題> ○広報とわだへの掲載を引き続き行うことで、社会教育関係団体等の活動を広く市民に紹介することができた。	A	継続
一本木沢ピオトープ協議会の活動支援（スポーツ・生涯学習課）	一本木沢ピオトープの恵まれた自然環境の中で、野生生物の生態観察等を通し、子どもたちの情操教育を育む場を提供する。並びに保護活動の啓発・啓蒙を図るとともに、人と自然が共生できる環境の創出を図る活動を推進し、環境教育の振興に努める。	一本木沢ピオトープ協議会の事務局を担い、事業運営のための事務を行う。 (1)総会・・・5月29日 (2)活用委員会・・・①6月15日 ②10月17日 (3)こどもゆめ基金助成活動による「一本木沢ピオトープ親自然体験」 ①ピオトープ子ども環境ゼミ・・・7月2日（子25名） ②ナイトハイクホテル観察会・・・7月22日（子14名、大人15名） ③水の中をのぞいてみたら・・・8月19日（子16名、大人7名参加） ④トンボ博士になろう・・・9月2日（子15名、大人7名参加）	0	<令和4年度の課題> ○：成果、●：課題 ●なし <令和5年度の成果と課題> ○環境教育として新たに実施した「子ども環境ゼミ」で小学4年～中学3年までの生き物マニアを集めたところ、定員を上回る申込があり、各班に分かれて観察・マッピングを行った。小学校教諭や研究職の方など多数の協力を得て充実した事業になった。 ●未就学児など、東コミセンからピオトープまでの徒歩移動が難しいケースがあった。	A	継続